

令和5年地域政策推進事業について

1 十勝ゼロカーボン推進事業

(事業費:4,535 千円)

(1) とかち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業

【環境生活課】

<概要>

「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、環境の保全・適正利用や豊富な地域資源による再生可能エネルギーの活用について地域の住民や企業等に対し普及啓発を図るとともに、自発的な行動変容を促す。

(具体的な取組)

- 地域の各主体が交流するネットワーク
「とかちゼロカーボンCLUB」の結成
- 「ゼロカーボン行動 十勝宣言」の取組の輪を広げるための情報発信の強化
- テーマや課題別に参集し自由な意見交換や交流を図る
「とかちゼロカーボン塾」の開催
- 「とかちゼロカーボン通信」の発行や
SNS を活用した情報発信
- 市町村が取り組む脱炭素化の促進に向けた積極的支援
- 「CO2 見える化アプリ（本庁事業）」を活用した
一般向け普及啓発の実施



(2) 「ゼロカーボン北海道」に資するための省エネ・再生可能エネルギー促進事業

【商工労働観光課】

<概要>

「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、小学生親子向けのミニセミナーや工作教室の開催、エネルギー消費の大きい事業者へゼロカーボン専門人材の派遣やセミナー等を開催する。また、「次世代自動車研究会」を活用し、啓発活動やEV導入支援及び各種データ分析・講評による機運醸成を行う。

(具体的な取組)

- 再生可能エネルギー普及拡大に伴うゼロカーボン対応経営セミナーの開催
- 帯広高等技術専門学院と連携し「親子で学ぶ再生可能エネルギー教室」の開催
- 「次世代自動車研究会」における各種調査・研究や啓発活動の実施
(稼働時の消費電力データの収集・啓発活動の実施、市町村におけるEV 公用車導入支援)
- 大規模需要家における推進人材育成のための専門人材の派遣



(3) 十勝農業イノベーション加速化事業

【農務課】

<概要>

人口減少に伴う労働力問題の顕在化と合わせて気候変動に伴う災害の頻発やコロナ禍など農業を取り巻く環境が大きく変化する中で、先端技術の導入や多様な担い手の確保、十勝ブランドの強化、環境負荷軽減の取組を通じて農業のイノベーションを加速化させ、環境と調和した生産性と持続性が両立した農業の確立を目指す。

(具体的な取組)

- スマート農業技術の導入に向けた現地実証会の開催
(今後、導入が期待される可変施肥技術の検証)
- 関係機関と連携し、スマート農業技術情報を発信
(意見交換会等の開催)



(4) オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業

【林務課・森林室】

<概要>

豊富な森林資源や木育活動の輪を活かし、森林の育成や木質バイオマス等の利用を通じた、ゼロカーボンの普及啓発を推進する。

(具体的な取組)

- 「オール十勝・森と木のゼロカーボン」を標語にした普及啓発の展開
 - ・植樹体験から吸収量の見える化を実感する植樹体験会の実施
 - ・帯広競馬場にて、木質バイオマス燃料ストーブの展示・実演のほか、木質バイオマスにちなんだ木育体験等を行う「木の暖房フェスタ」を開催
- 工事等による支障木を販売し、暖房用木質バイオマス向け活用する。



2 とかち”いいね”魅力拡大事業

(事業費:6,190 千円)

【商工労働観光課】

<概要>

新型コロナウイルスの影響により観光需要が低迷する中で、旅先としての十勝の認知度向上及び誘客促進を図るため、SNS等を活用した情報発信やプロモーション、魅力的な観光地づくりに向けた取組を推進する。また、十勝の「食」の付加価値向上、ブランド化の取組、十勝製品のPR・販路拡大を併せて進める中で十勝の認知度及び誘客推進の更なる向上を図る。

(具体的な取組)

- アドベンチャートラベルの知見のある有識者を招き、コンテンツの発掘、磨き上げを行いその優位性を検証
- 専門家を招いた相談会や商談会を開催し、商品の開発・新たな販路の開拓を実施
- 首都圏の有名百貨店において「とかちフェア」開催
- 十勝のワインを楽しむワインツーリズムルート開発及びプロモーション
- 首都圏や道央圏における観光関係イベントでのPR



3 宇宙産業理解促進事業

(事業費:1,015 千円)

【商工労働観光課】

<概要>

大樹町で進められている宇宙分野の取組について、より広く管内道民の理解を深めるとともに、宇宙関連産業の裾野を広げる多様な事業モデルについて情報発信し、企業誘致や移住・交流人口の拡大など、次世代の先進的な産業による地域づくりを進める。

(具体的な取組)

- 射場整備、打ち上げ等に連動したセミナーイベント開催
- 民間企業とコラボした宇宙ビジネスアイデア会議の開催
- 道外開催の展示会等におけるPR活動



4 農業分野における人材確保対策事業

(事業費:1,113 千円)

【農務課】

<概要>

労働力不足が課題となっている農業分野の労働力・担い手を確保するため、幅広い人材を農業に誘導し、労働力の確保を図る。

(具体的な取組)

- 教育局と連携し、普通科高校の学生を対象とした、農業に関する出前授業や現地視察等を実施



5 十勝地域輸出拡大促進事業

(事業費:662 千円)

【農務課】

<概要>

十勝管内の主要産業である農畜産物の更なる販路拡大を図るため、事業者向けのセミナー、相談会の開催等輸出促進に係る取組を実施する。

(具体的な取組)

- 農畜産物輸出における国内・北海道の現状と課題に係るセミナー・相談会の開催
- 輸出関係者による輸出取組のセミナー・商談会の開催
- 輸出事例調査の実施



6 ポストコロナ農畜産物需要回復事業

(事業費:883 千円)

【農務課】

<概要>

ポストコロナでの十勝管内の農畜産物の需要の変化を見据え、牛乳・乳製品、牛肉の消費拡大事業の取組を進める。

(具体的な取組)

- 「十勝和牛」の消費拡大や認知度向上に向け、関係団体と連携したPRを展開
- 管内小規模牛乳・乳製品工房関係者と連携したPR資材の作成や管内外での消費拡大PRを実施



7 未来人材地域づくり事業

(事業費:2,795 千円)

【地域政策課】

<概要>

十勝管内の人口減少に対し、学生・子どもの地元定着や移住・定住・関係人口の増加など、人口の流出・流入の両面から取組を推進する。

(具体的な取組)

- 移住者同士が交流できる場として移住者交流会を開催、PR動画作成
- 地域おこし協力隊とJICA帯広と連携したオンラインイベントの開催
- 企業と大学生等のオンライン交流会の開催
- 管内地域おこし協力隊員のネットワーク形成、研修ツアー「魅力発見ラボ」の開催
- 農村ツーリズム×ワーケーション「アグリワーケーション」の推進に関するシンポジウムの開催



8 とかちの漁師エナジープロジェクト推進事業

(事業費:460 千円)

【水産課】

<概要>

漁業後継者の育成や定着のため、次世代を担う青年漁業者をターゲットに、意識醸成を図るとともに、漁業の魅力伝えて担い手確保を図る。
令和3年9月に発生した有害赤潮による漁業者の不安を払拭するため、水産技術普及指導所によりプランクトン発生状況の調査や情報共有等を図る。

(具体的な取組)

- 青年漁業者自らが消費地市場にて対面販売を実施。
- 管内の児童、生徒を対象に漁師の魅力を伝える出前事業等を実施
- 赤潮対策として、定期的にモニタリング調査を実施し、最新の調査結果を関係者等と共有する。



9 耕地防風林造成技術推進事業

(事業費:469千円)

【森林室】

<概要>

農業被害や交通障害の防止に高い効果を発揮し、重要な景観要素となっている防風林について、地域の林業・農業関係者が連携し、農家への意識調査や対応策の検討を行うとともに、防風林の効果等の理解促進を図るための勉強会の開催や耕地防風林の造成指導を実施することにより、地域の防風林の維持（更新・再造成）を図る。

(具体的な取組)

- 振興局や研究機関等をメンバーとしたプロジェクトチームを設置し、防風林の利点と欠点の再整理、農業者が感じている欠点の軽減策、若手農業者等への効果的な普及啓発方法等を検討
- 農業関係者からの要望等による、耕地防風林の造成指導や勉強会の実施



10 交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業

(事業費:5,250千円)

【地域政策課】

<概要>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける十勝管内の公共交通の利用状況を把握した上で、人の動きを促す取組を主体とし、①域内間の交流増加（まちづくり）、②域外との交流増加（観光振興、移住定住）に向けた取組を実施することにより、関係・交流人口の増加と北海道十勝地域の活性化を目指す。

(具体的な取組)

- 新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用者の行動様式の変化を踏まえた、キャッシュレス決済サービスの導入等による、地域交通サービスの非接触化に向けた仕組みの実証事業を実施
- デジタル技術の活用により利便性向上を目指す観光MaaSシステム「トカチケ」の新たな交通旅行商品の造成・販売及び情報発信を実施

